

# 宮城県感染症発生動向調査情報(第43週)

宮城県【平成25年10月31日】発行  
 宮城県保健環境センター  
 TEL (022)257-7228

— 2013.10.21 ~ 10.27 ・ 第43週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							仙 台 市				宮 城 県 (含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第40週	第41週	第42週	第43週	
水痘		6 0.60	1 0.20		3 1.00	8 1.60	1 0.50	14 0.54	33 0.57	2,726	○→	○→	○→	○	
流行性耳下腺炎		3 0.30	1 0.20	1 0.50	2 0.67	1 0.20	10 5.00	6 0.23	24 0.41	930	→	→	→		
百日咳											→	→	→		
感染性胃腸炎	7 1.40	20 2.00	6 1.20	7 3.50	9 3.00	5 1.00	1 0.50	38 1.46	93 1.60	12,954	◎→	◎→	◎→	◎	
手足口病	13 2.60	16 1.60	20 4.00	3 1.50	4 1.33	8 1.60	3 1.50	40 1.54	107 1.84	4,199	◎→	◎→	◎→	◎	
伝染性紅斑	1 0.20	4 0.40			8 2.67		1 0.50	6 0.23	20 0.34	555	→	○→	レ→		
突発性発しん	4 0.80	4 0.40	7 1.40	2 1.00	3 1.00			15 0.58	35 0.60	1,591	○→	○→	○→	○	
ヘルパンギーナ		3 0.30	1 0.20	1 0.50		1 0.20		7 0.27	13 0.22	2,073	レ→	レ→	レ→		
インフルエンザ	1 0.13								1 0.01	15,683	→	→	→		
咽頭結膜熱		1 0.10						4 0.15	5 0.09	687	→	→	→		
流行性角結膜炎								1 0.17	1 0.08	139	→	→	→		
急性出血性結膜炎											→	→	→		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4 0.80	15 1.50	2 0.40	2 1.00		22 4.40		29 1.12	74 1.28	4,070	○→	◎→	○→	○	
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→		
無菌性髄膜炎											→	→	→		
マイコプラズマ肺炎		2 2.00	3 3.00	1 1.00			10 10.00	3 0.60	19 1.58	779	→	→	→		
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→		
RSウイルス感染症	12 2.40	10 1.00	2 0.40	5 2.50	4 1.33	1 0.20		12 0.46	46 0.79	825	○→	○→	○→	○	
拡大疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1	3	1	1	4	6	3	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向						
	川崎病								【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 <a href="http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansan-center/">http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansan-center/</a>						
	不明発疹症				1			2							
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※															

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

**定点把握の対象となる5類感染症(全国 第41週)** (国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)  
**インフルエンザ**: 定点当たり報告数は第37週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.95)、和歌山県(0.24)、兵庫県(0.15)である。**RSウイルス感染症**: 報告数は3,792例と2週連続で増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約71%を占めている。**咽頭結膜熱**: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(8.56)、大分県(6.75)、熊本県(6.50)である。**水痘**: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は富山県(1.28)、新潟県(1.08)、鹿児島県(1.02)である。**手足口病**: 定点当たり報告数は第38週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は鹿児島県(4.95)、北海道(3.93)、新潟県(3.69)である。**伝染性紅斑**: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮城県(0.45)、富山県(0.31)、高知県(0.17)である。**ヘルパンギーナ**: 定点当たり報告数は第31週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は北海道(0.89)、福島県(0.87)、新潟県(0.72)である。**流行性耳下腺炎**: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は福井県(1.50)、高知県(1.27)、福岡県(0.80)である。**マイコプラズマ肺炎**: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は宮城県(1.58)、福島県(1.57)、岩手県(1.53)である。  
 \* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所))の集計結果です。( )内の数字は定点当たり報告数となります。

## 今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
  - 塩釜管内 男性1名、女性1名
  - 大崎管内 男性1名
  - 気仙沼管内 女性1名(第38週)、女性1名(第40週)
  - 男性1名(第41週)
- 3類感染症: 報告なし
- 4類感染症: レジオネラ症
  - 塩釜管内 男性1名
- 5類感染症: 梅毒
  - 仙台管内 女性1名(第42週)
- 後天性免疫不全症候群
  - 仙台管内 男性1名
- アメーバ赤痢
  - 石巻管内 男性1名
  - 仙台管内 男性2名

※男児、女児は6歳未満

## 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

## 今週の感染症のコメント — 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

[手足口病]  
 仙南、大崎管内で警報継続中。

[伝染性紅斑]  
 登米管内で警報継続中

**【病原体検出情報】**  
 ~仙台医療センターウイルスセンター~

	第41週採取分 (10.7~10.13)	第42週採取分 (10.14~10.20)	第43週採取分 (10.21~10.27)
パラインフルエンザウイルス4型	1件	1件	0件
RSウイルス	2件	0件	1件

**【ロタウイルスによる感染性胃腸炎について】**  
 平成25年10月14日の改正省令において、ロタウイルスによる感染性胃腸炎患者を、基幹定点による届出対象疾病とした。今回の改正は、現行の小児科定点における届出に加え、基幹定点における、迅速診断キットを用いたロタウイルスによる感染性胃腸炎と診断された症例を届出の対象とすることにより、重症例を中心にロタウイルス胃腸炎の発生動向をより正確に把握し、さらにロタウイルスワクチン導入の影響を評価することを目的としている。  
 11月に入ると、ロタウイルスを含めた感染性胃腸炎患者が増加することから、本格的な流行に備え今後の発生動向には十分注意が必要である。